

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」(事務事業点検シート)

課等名: 都市計画課

シート No. : 80

作成日: 2025.5/16

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	V都市基盤の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	2多様な交流を促す交通ネットワークを形成する	本市は、災害に強い持続可能なまちづくりや人口が減少する中でも縮小しながら充実を図る「縮充」のまちづくりを目指すために立地適正化計画を策定し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」へのまちづくりの転換を進めています。 更に、都市計画道路が決定された当時と今日では、都市計画をめぐる社会環境等は大きく変化しており、圏央道の開通で道路網が発達したことで著しく産業系の交通需要が増加したコンパクトシティと産業系の土地利用の実現に向け、現在の道路ネットワークの検証及び見直しが必須となっています。	都市計画道路の整備を適切に推進するためには、各都市計画道路の廃止・変更・存続の方向性を明らかにし、快適な住環境の維持が図れるよう都市計画道路網の見直しを進めます。現在、市街地エリアでは家屋等が多く建ち並び、また鬼怒川の東部エリアでは浸水想定区域が多く、まちづくりに欠かせない都市計画道路が計画決定された当初からでは社会状況が大きく様変わりしており、そのために都市計画マスタープランを基本とした都市計画道路としての計画の継続や変更等の方向性を見直しを図ります。
	施策	1道路網の整備		
	施策内容	都市計画道路網の整備		
その他、根拠法令及び分野別計画等	都市計画法、都市計画区域マスタープラン、常総市都市計画マスタープラン			
事務事業名	都市計画道路網の整備			

② アクティビティ (活動・事業) とアウトプット (結果)

③ インプット (投入)

アクティビティ (活動・事業)		アウトプット (結果)			インプット (投入)	
活動名・事業名 (対象年)	R6活動・事業内容	指標 (単位)	R6目標値	R7目標値	R6予算額	R6決算額
			R6実績値	R8目標値		
都市計画道路再検討調査の業務委託 (R6)	茨城県都市計画道路連絡調整会議で意見を伺いながら、新たな計画の見直しの方向性を調整します。	会議開催 (回)	2	—	8,756千円	8,756千円
パブリックコメントの実施 (R6)	都市計画道路再検討調査に向けてパブリックコメントを実施し、住民からの意見の集約を図ります。	実施 (回)	1	—	千円	千円
見直し対象路線の選定 (R6)	都市計画道路再検討調査に向けて各都市計画道路の見直しの対象となる路線を選定します。	路線 (本)	2	—	千円	千円
水海道有料道路に係る負担金 (R6・7・8)	水海道有料道路の通行料金を負担することで、利用者の利便性の向上及び近隣の学校へ通う生徒の安全性を確保します。	負担金 (千円)	40,000	40,000	40,000千円	40,400千円
近隣の市からの負担金 (R6・7・8)	関係する市へ、継続して水海道有料道路の通行料金の負担を要望します。	負担金 (千円)	1,500	1,500	(歳入) 1,500千円	(歳入) 1,500千円
水海道有料道路に係る委託業務 (R6・7・8)	水海道有料道路を通過する交通量を分析し、データを蓄積します。	交通量分析 (回)	12	12	238千円	238千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム (成果)

指標名	目標値	R6実績値
都市計画道路の見直し方針の成果物納品	1回 (R6)	1回
都市計画道路の見直し対象路線の選定	2本 (R6)	2本
交通量の分析	12回 (R6)	12回

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地
都市計画マスタープランを基本としながら、関係機関や市民の意見も踏まえた「都市計画道路の見直し方針 (案)」を策定することができました。	<input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/> その他
	今後の方向性 今後は、早期に「都市計画道路の見直し方針 (案)」を都市計画決定に向け、事務手続きを進めていきます。